

キャリア教育（4M）

責任者・コーディネーター	医学部医学教育学講座医学教育学分野 佐藤 洋一 教授		
担当講座・学科(分野)	医学教育学講座医学教育学分野、呼吸器外科学講座、産婦人科学講座、外科学講座、生化学講座分子医化学分野、衛生学公衆衛生学講座、循環器内科分野、麻酔学講座		
担当教員	佐藤 洋一 教授、谷田 達男 教授、杉山 徹 教授、西塚 哲 講師、古山 和道 教授、野原 勝 非常勤講師、森野 禎浩 教授、塩井 義裕 助教、鈴木 健二 教授		
対象学年	4	区分・時間数	講義 12.0 時間
期間	後期		

・学習方針（講義概要等）

医師免許取得後に医療人として進む道は、1つではない。臨床各科の専門医に加え、基礎医学者、社会医学者、行政職など多岐にわたる。そのいずれにおいてもプロフェッショナルとして要求される水準は高く、従って卒後は効率良くキャリアを積むことがレベルアップに必要なようになる。専門医制度や学位や研究の意味について知っておくことで、自己の資質に合わせた将来像を思い描くことができるであろう。また住民の健康に奉仕すべき医療人とはいえ、医療業務の遂行に追われて個人の生活が破綻するようなことがあってはならず、ワーク・ライフ・バランスをいかにうまくとるかを考えなければならない。専門医制度の紹介、研究医の生活、あるいは家庭と仕事の両立に関する具体的事例を紹介する。

・教育成果（アウトカム）

卒後研修制度、専門医制度、および大学院制度の現状を知ること、将来のキャリアアップに向けて何が重要か想定できるようになる。また、いくつかのロールモデルを参考にすることで、キャリアアップには自由な意志決定とともに社会的制約も存在することを知り、多様な将来像を思い描く自律性を修得する。

・到達目標（SBO）

- ・臨床研修制度の概要について、述べることができる。
- ・専門医制度の概要について、述べることができる。
- ・研究医と臨床医のキャリアアップに重要な事項を述べることができる。
- ・家庭と職場の両立に何が重要か想定できる。
- ・自分の将来像を幾通りか思い描くことができる。

・ 講義日程

(矢) 西 104 1-D 講義室

【講義】

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	講義内容
10/19	水	1	呼吸器外科学講座	谷田 達男 教授	初期臨床研修制度の導入経緯とその功罪。岩手県・岩手医大の初期臨床研修制度の特徴
10/19	水	2	岩手医科大学 附属病院長	杉山 徹 教授	専門医制度の概要
10/19	水	3	大学院医学 研究科科长	佐藤 洋一 教授	大学院制度の概要、研究機関の概要
10/19	水	4	医学教育学 講座医学教育 学分野	佐藤 洋一 教授	グループワーク 専門医、総合医、研究医を対比して、それぞれの道を歩むために必要な事項を抽出する。 個別ワーク 10年後の将来像とキャリアアップを各自が考える。
10/20	木	1	外科学講座 分子医化学分野 衛生学公衆 衛生学講座	西塚 哲 講師 古山 和道 教授 野原 勝 非常勤講師	研究医・行政官としてのキャリアアップ事例
10/20	木	2	循環器内科分野 外科学講座 麻酔学講座	森野 禎浩 教授 塩井 義裕 助教 鈴木 健二 教授	臨床医としてのキャリアアップ事例
10/20	木	3	岩手県立千 厩病院 普代村国民健 康保険診療所	下沖 収 病院長 榎屋 美緒 診療所長	地域医療を担う医師のキャリアアップ事例 女性医師のキャリアアップの事例
10/20	木	4	医学教育学 講座医学教育 学分野	佐藤 洋一 教授	グループワーク ワーク・ライフバランスをとるために必要な事項をKJ法で抽出する。個別ワーク 10年後の将来像とキャリアアップを各自が考えてポートフォリオに記録しておく。

・ 教科書・参考書等

教：教科書 参：参考書 推：推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
登録済の教科書・参考書等はありません				

・成績評価方法

グループワーク成果物やキャリアアップに関するレポート等により、総合的に評価する。

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
登録済の機器・器具はありません			